

町政執行方針

【要旨】



大野 克之 町長

3月8日招集の町議会定例会において、大野町長が町政執行方針を述べました。その概要をお知らせします。

町政に臨む基本姿勢

令和6年度の町政執行については、引き続き「財政の健全化」に取り組みながら、デジタル技術を活用した業務改革や地域内公共交通の再構築など、住民サービスの維持・向上に向けた具体的なアクションを起こしていくほか、町の将来を担う「子ども」に視点を置いた出産・子育て支

援策について、これまで以上に取り組んでまいります。

基本政策

①開かれた町政の実現

広報・広聴

多くの方に関心を持ってもらえるよう時代のニーズに合わせた情報発信に取り組むとともに、直接対話の機会づくりに努めてまいります。

財政の健全化

物価高騰などの影響から、今まで以上に限られた財源の使い道を考え、最小の経費で最大限の効果が得られるよう進めてまいります。

DX推進、行政手続

役場窓口での負担を軽減するため、デジタル技術を活用し「書かないワンストップ窓

口」の導入や、マイナンバーカード、スマートフォンを活用した各種手続きなど、窓口改革に取り組んでまいります。

②基幹産業の強化と新分野の産業創出

農業

担い手の育成と確保、新規就農者へのサポート体制の強化、産地間連携の仕組みづくりの調査・研究を進めるほか、地域ブランド力の向上に向けた取組を推進してまいります。

林業・林産業

健全で優良な森づくりや担い手の育成と確保に取り組むほか、ICTを活用した安全で効率的な森林施業の調査・研究に努めてまいります。

水産業

赤潮により被害を受けた資源について、関係機関と連携を図り各種調査を進めるとともに、栽培漁業を推進し、資源回復に努めてまいります。

商工業

小規模事業者の事業承継や新規創業、さらには、空き店

舗の活用促進のため、創業・事業承継支援事業に取り組むとともに、静内農業高校生と地元事業者による「静農ブランド」の商品開発については、持続可能な仕組みづくりに取り組んでまいります。

③防災対策の強化

防災訓練や防災講話などを通じ、幅広い年齢層において防災意識の向上や自主防災組織の設立を推進するとともに、減災対策として、洪水被害の恐れがある河川の埋塞土除去などを進め、安全安心な環境が維持されるよう取り組んでまいります。

④子どもたちの健全育成

教育大綱に掲げる基本目標「町の将来を支える心豊かな人づくり」を目指し、教育行政執行方針のもと時代の変化に対応した施策に取り組んでまいります。

学校教育

ふるさと教育やコミュニティスクールの積極的な活用を図り、子どもたちの未来に

活きる力、豊かな心、健やかな体の育成に取り組んでまいります。

学校給食

子どもたちに栄養バランスの良い食事を提供するとともに、食育を通じ健康的な食生活を維持するための知識態度を育むよう努めてまいります。

生涯学習

子どもたちがたくましくかつ豊かな心を育むことができ、環境を維持し、関係団体と連携しスポーツ活動や自然体験、文化芸術活動の充実に努めてまいります。

子ども施策

ふるさと納税を活用した公園遊具の補修や、こども基金を活用した出産時の地元特産品等配布事業などに取り組んでまいります。

⑤生きがいの持てる地域づくり

医療・介護・福祉分野などの人材の育成および確保

資格取得のための修学資金貸付事業の拡充や人材育成研修事業を実施するほか、多く

の機関と協働して就労支援に取り組んでまいります。

高齢者福祉

認知症高齢者の相談支援体制整備のほか、徘徊高齢者などの早期発見、安全確保を目的としたGPS等探索機器の助成事業に取り組んでまいります。

障がい者福祉

分散していた児童養育相談センター機能を集約化し、より快適に安全安心な療育が受けられるよう、環境整備を進めてまいります。

健康

各種健診の勧奨や相談受診体制の整備充実を図るほか、予防接種事業では、高齢者を対象としたインフルエンザと肺炎球菌ワクチンの接種費用を定額助成し、接種しやすい環境を整備してまいります。

子ども・子育て支援

安心して出産、子育てができる環境を構築するため「こども家庭センター」を新設し、子ども関連分野の窓口を集約することにより、妊娠前、妊娠・出産、子育て期

と、切れ目のない支援体制を強化するとともに、不妊治療費等助成や低所得妊婦への初回産科受診料助成、1か月児健診の費用助成や5歳児健診を実施してまいります。また、こども基金を活用し、こみ袋の配布や、2歳未満児の一時預かり事業の実施など、子育て世帯の経済的、精神的ストレスの軽減に取り組んでまいります。

医療分野

「公立病院経営強化プラン」に基づき、老朽化した三石国民健康保険病院を在宅支援診療所として新築することとし、医療提供体制の確保に努めてまいります。

地域内公共交通

民間バス事業者による路線バスの運行が困難となっていくことから、新たな交通手段導入の検証を行うため、事前予約制の交通サービスであるデマンド交通の実証実験を実施します。

⑥環境を活かしたまちづくり

馬による人材づくり

馬を軸としたふるさと教育を推進し、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、各世代の町民が馬文化に触れられるよう努めてまいります。

空き家

「空き家等対策計画」に基づき、所有者による適正な管理を促進するとともに、移住政策などと連携した空き家の有効活用を図り、まちなか居住支援に取り組んでまいります。

不法投棄

周辺地域への影響も大きい不法投棄を防止するため、監視体制を強化するとともに、啓発活動に取り組んでまいります。

自然環境

2050年の「カーボンニュートラル」実現に向けて官民一体となった省エネルギー化と森林資源利用を推進し、自然の恵みが身近に感じられる環境づくりに取り組んでまいります。

⑦町の将来を担う人材づくり

馬による人材づくり

馬を軸としたふるさと教育を推進し、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、各世代の町民が馬文化に触れられるよう努めてまいります。

グローバル人材の育成

小中高校生への英語検定料助成事業、姉妹都市への語学留学、派遣事業を継続するほか、コロナ禍で休止していたレキシントン市からの訪問団の受入事業を再開し、英語力や国際感覚を身に付ける機会づくりに取り組んでまいります。

⑧町との関わりを持つ関係人口の拡大

移住政策

産業団体などとも連携し、現役世代を中心とした移住定住の促進を図るため、相談体制の充実に取り組んでまいります。

日高山脈の国立公園化

本年は、日高山脈が国立公園となることから、アドベンチャートラベルなどの体験滞在型観光を推進するため、受け入れ体制の充実に取り組んでまいります。

ふるさと納税

町を応援していただくファンを増やすため、クラウドファンディング型のふるさと

納税活用事業に新たに取り組んでまいります。

馬産地イベント

「うまカルフェスin新ひだか」については、馬産地を象徴するイベントとして、関係団体などとの連携のもと開催してまいります。

アイヌ政策

「アイヌ施策アクションプラン」に基づき、アイヌ文化拠点空間の整備や文化伝承に関わる人材の育成、活動拠点の形成に努めてまいります。

むすび

さまざまな課題にしっかりと向き合いながら、全力で取り組んでまいりますので、町民の皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

の式を町公針方執行町政の全文をホームページでご覧ください。

